岩盤ボーリング柱状図

調　　査　　名	主要地方道 東城西城線 測量設計地質調査業務委託（道路改良・単独）
事　業　・　工　事　名	
調査目的及び調査対象	道路　橋梁・高架

ボーリング名	B-3	調査位置	広島県庄原市東城町保田	北　緯	34° 55′ 48.3527″
発注機関	広島県北部建設事務所　庄原支所	調査期間	令和5年 8月23日～ 令和5年 8月25日	東　経	133° 10′ 41.7698″
調査業者名		主任技師		現場代理人	
コア鑑定者		ボーリング責任者			
孔口標高	TP 557.57m	角度	180° 上 下 0° 90° 90°	方向	北 0° 270° 90° 西 東 180° 南
地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種			
試錐機	東邦D0				
総削孔長	6.00m	エンジン	ヤンマーNFD10	ポンプ	東邦BG-3C

標尺（m）	標高（m）	深度（m）	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率（%）／最大コア長 cm／RQD［%］	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度－N値図	N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	原位置試験	室内試験	削孔月日	削孔速度（cm/h）	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧（MPa）	回転数（rpm）	送水圧（MPa）	削孔水・送水量（L/min）	排水量（L/min）
1	557.57	1.00		黒ぼく	黒褐～暗褐								有機質な粘性土。表層付近に竹根を混入。一部に低塑性な粘性土が挟在。											600	86	6/ 66 打込みによる付込	0	0	0	W1/0	0
2				石英輝緑岩	淡褐緑灰	w3	h2	C	Ⅳ	c	D	13[23](100)	1.0～1.3m 亀裂が多く、礫状を呈する。岩級はDH級。			50以	1.05 1.15	50 100	100												
3						w2		B	Ⅲ	b	CL	17[28](100)	1.3m以深は短柱状～柱状主体。所々にやや風化した石英斑岩が脈状に貫入している。			50以	2.00	貫入不能					8/23	37	8/6/ケーシング		200	225	0	W5/8	7
4					～	w1	h1	A	Ⅱ	a		12[22](100)	部分的に非常に新鮮・硬質な部分がみられる。																0	W5/8	5
5						w2	h2	B		b		14[24](100)	2～3m付近のコア肌はやや粗い。3m以深はコア肌は概ね滑らか。										8/24	46	66	ダブルDB	175	275	0	W5/8	0
6	557.57	6.00			暗緑	w3	h3	C	Ⅳ	c																					
						w2	h2	B	Ⅱ	b	CM	22[47](100)	4.4～4.8m付近は亀裂面に沿ってやや風化した石英斑岩が混在し、やや脆くなっている。										8/25	43					0	W5/7	0
7																															
8																															
9																															
10																															
11																															